

2024年度・自己点検及び評価報告書

当日本語教育機関が法務省告示基準に沿って実施した2024年度の「自己点検及び評価」は以下の通りです。

実施日:2024年6月20日

アイザック東京国際アカデミー

I. 点検評価項目ごとの確認・評価

【評価の目安】

A:十分に達成されている B:達成されている C:達成に向けて努力している D:達成されていない

点検・評価項目		評価
1. 理念・教育目標		
1.1	教育理念、目的、目標、育成する人物像が明確になっている。	A
1.2	教育理念、目的、目標、育成する人物像が社会のニーズに合致している。	A
1.3	理念、目標を体現した生徒を現実に輩出できている。	B
1.4	教育の理念がすべての教職員に共有されている。	A

まとめ

進学希望の卒業は全員進学できたが、進路先は専門学校が多く、大学進学率は高くなかったため、その点が今後の課題である。しかし、授業や課外活動を通して、多様な文化、習慣、考え方等幅広い視野を持ち、相互理解ができ、グローバルで活躍できるような人材育成はできた。学校全体としても、教職員としても、理念・教育目標に理解し、それに沿った行動ができていた。

2. 学校運営		
2.1	学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしている。	B
2.2	理念や目的に沿った運営方針や事業計画が策定されている。	C
2.3	校長、主任教員による、教員、事務職員の統括ができています。	A
2.4	個人情報の管理状況と、教職員への適切な取扱い方法の周知が徹底されている。	A
2.5	教職員の勤務時間管理を適正に行っている。	A
2.6	職員ミーティングを定期的に行っている。	B

まとめ

設置者変更申請が告示不相当となり、予定していた事業計画が達成できない状況となった。また、年度の途中から、校長兼主任教員だったところ、校長は校長職に専任し、新たに専任を主任教員とした関係で一時、学内の人事に遅滞が生じたが、その後は修正した。また、その関係で職員ミーティングが不定期になりがちだったが、人事が安定した後は定期的にミーティングを行うことができている。その他に関しては学校運営に関する認識の共有が図られており、今後も継続して、認識の共有に努めている。

3. 学習指導・カリキュラム		
3.1	教育目標に沿ったカリキュラムになっている。	A
3.2	カリキュラムの基本方針について、教職員間の共通理解ができている。	A
3.3	カリキュラムの進行状況について、教職員間の共通理解ができている。	A
3.4	期間ごとの各課程の到達目標が達成できている。	A
3.5	授業の進行に問題が生じている場合は、問題解決に至るまでのプロセスを重視した現実的な解決策が用意できている。	A
3.6	カリキュラムの改善が定期的に話し合われている。	A
3.7	学生の出席を確実に把握している。	A
3.8	授業時の説明、板書、発問といった授業の実施方法が適切かつ効率的である。	A
3.9	視聴覚教材や教育機器などの教材・教具が活用されている。	A
3.10	生活体験を生かした学習、学生の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習など、学生の主観面へのアプローチをとり入れた授業運営ができている。	B
3.11	「個の学習」と「クラスでの学習」のバランスが取れている。	A
3.12	学生のサイン・シグナルを読み取りながらの授業展開・クラス運営ができている。	A
3.13	学生への授業アンケートが定期的実施されている。	A
3.14	カウンセリングや教育相談体制が整備されている。	A
3.15	学生の満足度の把握をしている。	B

まとめ

学生の主観面へのアプローチを取り入れた授業運営が完全にできているとは言い切れないが、興味を持たせた自発的な学習に取り組ませる姿勢は評価に値する。学生アンケートを定期的実施し満足度を把握しながら、必要であればカウンセリングなど行い、学生の教育相談には十分応じられる体制ができている。また、現在学生の人数も少ないこともあり、学生については十分把握できている。

4. 学修成果		
4.1	成績評価、進級、修了の判定基準が明確になっている。	A
4.2	テストは確実に実施されている。	A

まとめ

クラス毎に実施している漢字試験を週に1回、総合教科書の試験を定期的に、4技能別の試験を各期末に実施し、各得点をレベル毎の基準で評価している。また、日本語能力検定試験の積極的な受験を促し、レベル別の試験対策と模擬試験等を行っている。

5. 進路指導		
5.1	最新の進学情報を提供している。	A
5.2	進路相談の手順、方法が明確になっている。	A
5.3	進路指導が十分に行き届いている。	A
5.4	学力と進学希望先をふまえた上での進路指導が実施されている。	A

5.5	進路指導を行う上での個人資料や進路情報の収集・管理状況が適切かつ十分である。	A
5.6	学校として組織的に進路指導に取り組む体制ができている。	A
5.7	地域の教育機関、進学先との連携・協力ができている。	A

まとめ

クラス担任を中心に、進路希望の聴き取りや出願、受験、入学手続きまでを計画的に進められるよう指導している。進捗状況は電子的に記録し、変化する情報を公開し、指導チーム全員で共有している。本年度は、昨年度の指導状況を踏まえて早期に進路説明会を設定し、卒業生が進学した専門学校の説明会にも積極的に参加するなど、進学先との連携強化と進学情報の収集にも力をいれている。

6. 生活指導		
6.1	母国と日本の文化の違いに対する、適切な指導・アドバイスができている。	A
6.2	アルバイト状況について、学生からのヒアリングと情報管理が適切に行われている。	A
6.3	アルバイトに関する問題が生じていない。	A
6.4	地域社会・アルバイト紹介業者等との連携体制に問題がない。	A
6.5	出席状況の管理とフォロー体制が適切である。	A
6.6	母国の文化を尊重しつつ、日本の文化を受け入れ、日本社会の一員としての日本での成長、人格形成につながる指導やアドバイスが行えている。	A
6.7	体験活動、行事などの実施・管理体制ができている。	A

まとめ

学生の出席状況を適切に管理し、生活ガイダンス等を実施し、不祥事が起こらないように努めている。資格外活動を定期的に調査し、地域のアルバイト先や紹介業者と連携し、違反がないように努めている。定期的に体験学習も実施している。

7. 保健管理		
7.1	対象となる学生全員が国民健康保険に加入している。	A
7.2	学生の薬物乱用防止、心のケア等を含んだ指導体制が取れている。	B
7.3	健康診断の予定と実施状況、さらに、診断結果において問題があった学生への対策をとっている。	A
7.4	学校の衛生管理を行っている。	A

まとめ

学生全員の国民保険加入を確認し、団体保険・責任賠償保険にも加入している。年に1回、健康診断を実施しているとともに、体調不良で欠席の学生に症状を確認し、必要があれば病院で診察を受けるように指導している。また、警察署に協力してもらい安全講話の講習も行っており、必要に応じて職員が多言語で個別指導をしている。

8. 安全管理		
8.1	危機管理マニュアル等の作成及び内容の周知が行われている。	B

8.2	気象警報発令時の措置、災害発生時の避難方法を定め、教職員及び学生に周知している。	B
8.3	施設、設備の定期的な安全点検が行われている。	A

まとめ

最新の気象情報を入手し、地震等の緊急時に、学生全員に連絡できる態勢作りに努めている。また学生は、校内掲示板にて越谷市発行の総合防災ガイドブックを閲覧できるようになっているが、学生に対する周知が足りない。

9. 教職員研修		
9.1	教職員の教育力及び指導力強化のための研修等を実施すると共に、他機関が実施する研修会等への参加を促している。	B

まとめ

校内的には、教師および職員のための学習会等を実施している。また、教職員に対しては他機関による研修会に可能な限り参加するように促している。

10. 入学者の募集		
10.1	入学者の募集活動が告示基準に沿って適切に行われている。	A
10.2	学校情報が正確に伝えられている。	A
10.3	入学者の募集について、今後の見通しが安定している。	C
10.4	授業料の請求、支払い、返金等が学則に沿って行われている。	A

まとめ

設置者変更の申請中のため 2024 年度留学生を受入れることができないので、10.3 の C を評価した。告示基準に沿って学校情報の提供と募集活動を仲介機関や入学者に適切に行っている。授業料請求の際、海外送金の方法等フォローしている。

11. 財務		
11.1	中長期的に学校の財務基盤が安定している。	A
11.2	設置母体と学校の経営が、明確に区分されている。	A
11.3	財務について会計監査が適切に行われている。	A
11.4	予算・収支計画が有効かつ妥当なものとなっている。	A

まとめ

設置者変更申請で告示不相当となり、収支計画に変更が迫られてたが、設置者が変更したことにより、財務基盤は安定するようになった。

12. 学校情報の公開		
12.1	ホームページ等で学校情報を適正に公表している。	A
12.2	法令上、または社会通念上、適切な情報を公開している。	A
12.3	入学希望者や現地の教育機関などへ、適切な学校情報を提供している。	A

まとめ

告示基準に基づき、必要情報を適正に日本語、英語、ベトナム語でホームページに公開している。またスカイプやFacebook、メールなどの手段を用いて募集要項等を仲介機関に送っている。学校のYouTubeとFacebookにはクラスの様子や体験学習の様子を載せている。

13. 教育環境整備		
13.1	学校運営に必要な設備等を備えている。	A
13.2	教育機器、教材、教具、図書が十分に整っている。	A

まとめ

告示基準に定められた教室等の施設は備わっている。また、機器及び当面の教材、教具に不足はない。図書については、進学指導や試験対策に必要なものを整えている。

14. 法令遵守		
14.1	法令順守に関する担当者を特定している。	A
14.2	教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みを行っている。	B
14.3	個人情報保護のための対策が取られている。	A
14.4	入国管理局、関係官庁等への届出、報告を遅滞なく行っている。	A

まとめ

入管等に対する届出と報告に関しては事務担当者が責任を持って、迅速に行っている。全体的な法令遵守に関しては校長が最終的な責任を持って、管理している。教職員のコンプライアンスについては校長と事務主任と教務主任が協議し、全教職員の意識を高めるような施策を行っており、個人情報保護に関する対策も充実させている。前年度と比較すると、全体的な法令遵守に関する意識が高まっている。

15. 地域貢献・社会貢献		
15.1	日本語学校について地域住民の方々に理解を促す働きかけができています。	B
15.2	近隣のごみ拾い等のボランティア活動への参加や地域貢献ができています。	B
15.3	地域の文化施設や自然、伝統行事等を学生指導に取り込み、活用できています。	C
15.4	地域住民との交流を行い、地域住民からの意見や要望等を把握し、またその意見や要望に応えられたかどうか、公表する仕組みがある。	C

まとめ

新型コロナの影響の余波がまだまだあり、地域社会との交流が実現できてはいませんが、今後は地域の交流活動などに参加できるように努めていきたい。

II. 総合評価と改善計画

総合評価
<p>【達成状況】</p> <p>今度は多くの進学希望者を希望の進路に進ませることができた。教務も事務も業務が軌道に乗ってきており、在籍管理、生活指導、学習指導の面で告示基準に沿う形で向上した。ただ、設置者変更申請において、告示不相当となったために学生募集計画は一時的な停滞状態となっており、収支計画も大幅な修正が必要になっている。しかし、それ以外は理念・教育目標に基づいて、各教職員が各項目を達成しており、それに伴い、学生も学習指導・カリキュラムに沿って、学習成果を出しているだけでなく、学校が期待する人材に確実に近づいている。</p>
<p>【課題・改善計画等】</p> <p>設置者変更申請において告示不相当となり、新規の留学生受け入れの停止状態となっているので、その状況さえ打開できれば、全てにおいて好転するはずである。また、学生の大学進学率を上げることも喫緊の課題であり、そのためには各教員の授業及び進路指導の力をより向上させる必要がある。教員を対象する勉強会を開催したり、研修を行ったりして、レベルアップを図っていきたい。また、地域に開かれた日本語学校を目指し、地域と共生に努め、積極的に地域のイベントに参加したり、学校自体を地域に開放したりして、多文化共生社会の一翼を担いたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> <p style="text-align: right;">アイザック東京国際アカデミー校長 渡部</p>